

公開可

資料-4(1)a

廃止措置研究に係る研究テーマ選定フロー

【課題・ニーズ等の抽出・整理】

R3年度まで考慮
(以降、現場の課題抽出時に適宜考慮)

先行プラントの廃止措置経験を踏まえ想定される現場の課題やニーズ

当社の廃止措置作業等を踏まえた現場の課題やニーズ

個別技術(除染技術、解体技術、防護具)における原子力学会標準の留意点を踏まえた課題

検討会初年度(H28年度)のみ考慮
(以降、現場の課題抽出時に適宜考慮)

個別技術の国内実績

◎又は○ 対象外

◎: 国内先行プラントでの適用
○: 国内での実績あり
×: 国内での実績なし

【保有技術とのマッチング】

INPUT: 課題・ニーズ、個別技術

課題やニーズへの対応技術・製品を保有

個別技術又は関連技術・製品を保有

愛媛県「企業説明会」
愛媛大学「廃止措置研究部会」等を適宜開催

廃止措置にも関連する技術で、一般産業界向けに実施したい研究開発事案あり

【一次スクリーニング】

一次スクリーニング用資料作成 ※1
(保有技術概要、研究開発概要)

一次スクリーニング用資料等を基にマッチング判断

「無」 対象外

「継続」 次年度以降、二次スクリーニング候補として再評価 ※2

「有」

【一次スクリーニングにおけるマッチング判断】
「有」: 現時点で課題、ニーズの解決に繋がる研究開発を実施できる可能性が有り
「継続」: 将来的に課題、ニーズの解決に繋がる研究開発を実施できる可能性が有り
「無」: 課題、ニーズの解決に繋がる研究開発を実施できる可能性が無い(含: 研究要素が無い、現行技術・製品がそのまま現場適用できる等)

※1 資料からの判断ではなく、直接企業との打合せ等によってマッチング判断しても良い。
※2 再評価の結果、研究開発実施の可能性が無くなれば、「無」とする。(現場課題の整理等)

【二次スクリーニング】

二次スクリーニング調査シート作成 ※3
(保有技術詳細、研究開発の方向性・課題)

基礎研究終了後の実用化(製品化)研究の提案

二次スクリーニング調査シートを基にマッチングレベル判断

レベル「中」、「低1」、「低2」

レベル「高1」、「高2」

優先度等に従い選定

「選定」 研究テーマ選定

「継続」 次年度以降、研究テーマ候補として再評価 ※4

【二次スクリーニングにおけるマッチングレベル判断】
・一次スクリーニングで研究開発の可能性が「有」とした技術に対し、「①研究開発の実現性」及び「②研究開発の効果」について評価を行い、マッチングレベルを決定する。(【二次スクリーニングの総合評価表】参照)
・評価においては企業(実用化研究)と大学(基礎研究、調査研究)の違いを考慮する。
・優先度: 「高1」>「高2」>「中」>「低1」>「低2」

※3 二次スクリーニング調査シート作成段階で研究実施を取り下げる場合はレベルを判定せずに、評価等の扱いについて提案元と調整する。
※4 現場課題の整理等により、研究開発実施の可能性が無くなれば、再評価対象外とする。再評価の結果、ある程度の期間(5年間を目安とする)「低1」以下の評価であれば、再評価対象外とする。ただし、効果が「中間」である「低1」評価件名について、将来的に課題、ニーズの解決に繋がる研究開発を実施できる可能性がある場合は除外しない。

【二次スクリーニングの総合評価表】

② 研究開発の効果	「やや高い」	レベル「中」	レベル「高2」	レベル「高1」
	「中間」	レベル「低1」	レベル「中」	レベル「高2」
	「やや低い」	レベル「低2」	レベル「低1」	レベル「中」
		「やや低い」	「中間」	「やや高い」
		① 研究開発の実現性		